

◆ 断熱性能

断熱等性能等級7:	”全館連続冷暖房”レベル UA値※: 0.26 (W/m ² ・K)
断熱等性能等級6:	”全館連続冷暖房”レベル ⇒費用対効果を考えると福岡地域はこれ! ”快適”の最低レベル=非暖房室・1月・朝方・概ね13℃を下回らない UA値: 0.46 (W/m ² ・K)
断熱等性能等級5: (2030年度義務化)	”快適”の最低レベル=非暖房室・1月・朝方・概ね10℃を下回らない UA値: 0.60 (W/m ² ・K)
断熱等性能等級4: (2025年度義務化)	”健康”の最低レベル=非暖房室・1月・朝方・概ね8℃を下回らない UA値: 0.87 (W/m ² ・K) *平成11年(1999年)に定められた基準・省エネ法現行基準

※UA値(外皮平均熱貫流率): 数値が小さいほど断熱性能が高い。

*気密を確保し”真冬の朝、無暖房で18℃”を目指しましょう!

◆ 耐震・耐風性能

耐震等級3:	耐震性能は概ね建築基準法の1.5倍。 数百年に一度発生する大地震(震度6強~7程度)に対して、仕様が継続できる程度に損傷や変形を抑えることを目標。 耐力面材を使用することで繰返しの地震にも有利。
耐震等級2:	耐震性能は概ね建築基準法の1.25倍。 数百年に一度発生する大地震(震度6強~7程度)に対して、補修により使用が継続できる程度に損傷や変形を抑えることを目標。
耐震等級1: (建築基準法レベル)	数百年に一度発生する大地震(震度6強~7程度)に対して、使用を継続することは想定していない。(最低限の基準、人命を優先)

*耐震等級: 住宅品確法・住宅性能の等級

*地域によっては地震係数によって地震力の低減が認められています。福岡県は0.8。

*繰返しの地震対策も求められています。

これからは

断熱(省エネ)性能 = 断熱等性能等級6
耐震性能 = 耐震等級3(許容応力度計算)